

令和6年度「学校安全総合支援事業」
モデル地域成果発表会

地域の自助力を高め、 共助の輪を広げる

長崎県立諫早東高等学校
田中麻里



学校安全総合支援事業 令和5～6年度



NIB HPより

【学校安全の3領域】

1. 防犯を含む生活安全
2. 交通安全
3. 災害安全

⇒一定の成果があったが、さらに深化させたい
諫早東高校の「文化」にしていきたい

学校安全総合支援事業 令和5～6年度



【令和5年度 副題】

関係機関と「自助」
地域と「共助」を確立

【令和6年度 副題】

地域の自助力を高め、
共助の輪を広げる

- ⇒地域や関係機関が一体となった自助力の向上
共助の輪を創り・広げる
- ⇒地域の担い手として、高校生の意識向上
- ⇒学校安全について、教職員の意識向上

学校安全総合支援事業 令和5～6年度

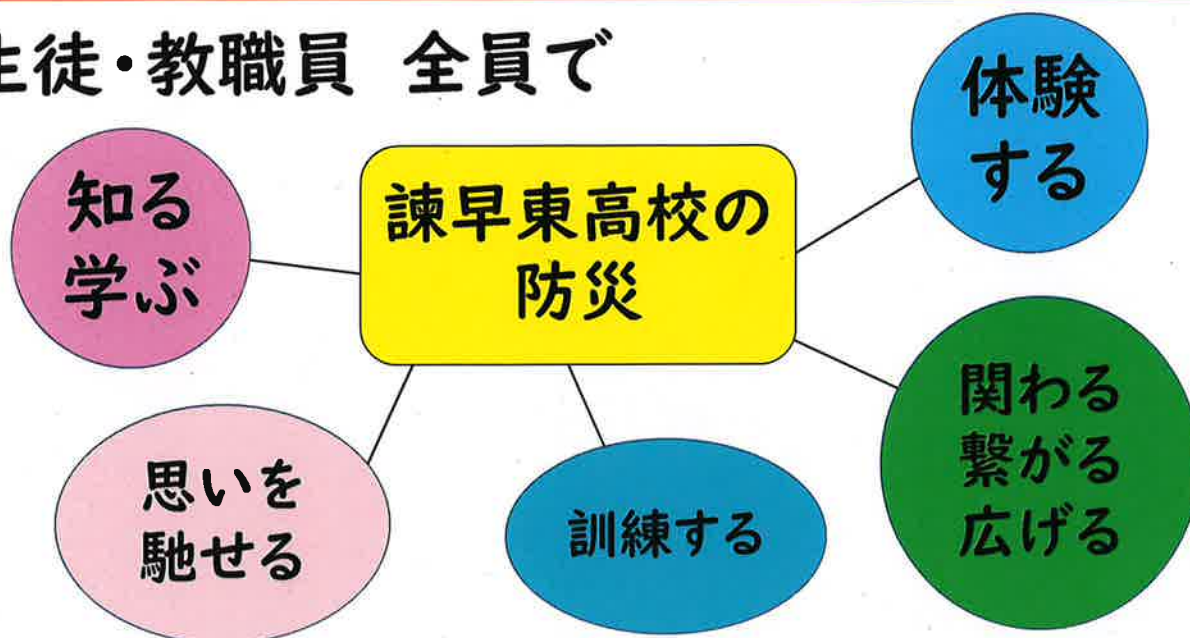


令和6年度の深化

- ・小中学校や地域関係機関との連携
- ・生徒有志による活動
- ・被災者による防災減災講話

学校安全総合支援事業 今年度の取組

生徒・教職員 全員で



5

諫早東高校の防災学習

知る 学ぶ

体験する

【7月】土砂災害対策ワークショップ（1・2年生）

長崎県土木部砂防課

【9月】他県防災施設研修

1年生：熊本県防災センター

2年生：福岡市民防災センター



6

諫早東高校の防災学習

知る 学ぶ

体験する



7

諫早東高校の防災学習

知る 学ぶ

体験する



8

諫早東高校の防災学習

生徒が

体験する

【6月】AED研修（1年生）

諫早消防署

昨年に引き続き2度目の実施

1学年・保健体育科に引き継ぎ、授業として実施

【11月】起震車体験（1・3年生と地域の小学校2校）



諫早東高校の防災学習

生徒が

体験する

【6月】AED研修（1年生）

校内のAEDの場所を確認しなければなら
ないと感じた。

「一次救命」という知
らなかった言葉を聞
けた。

救急車が来るまでの
9分の間に自分が応
急処置をしなければ
ならない。

胸骨圧迫のリズムや
深さ、手順を知らな
ければ、とっさの時に動
けなかったかもしれ
ない・・・。

苦手だけれど、勇気
を出して助けに行き
たい！消防隊員の
方々の心構えがすご
くカッコ良かった。



生徒が体験する

【11月】起震車体験（1・3年生と地域の小学校2校）

あの揺れが来たら、パニックになると思った。

起震車なので、「揺れる!」と分かっているにもかかわらず、怖かった。経験をしたので、揺れたらまず頭を守るという行動を意識して、生活します。

小学生と体験することで、高校生は共助のことも意識しないといけないと改めて思えて、良かった。

周りに子どもがいたら、怖いなど言っていられないので、冷静に判断して、自分の身と周りの安全を守ろうと思いました。

諫早東高校の防災学習

知る 学ぶ

体験する

【10月11～12日】防災学習及び避難所体験（1・2年生）

- ・昨年に引き続き
2度目の実施
- ・地域からの参加
R5 8名
(大人4 子ども4)
↓
R6 13名
(大人9 子ども4)

長崎県立諫早東高校

防災学習 2024

高めよう、防災意識!! 学ぼう、高校生と共に!!

防災学習一瞥（スケジュールは裏面をご覧ください）

【早食会！バタックキーン】 災害時でも、誰かが「寝ておきましょうよ！」 分かりやすい図解で、誰でもやることでさすよ...	【身軽なもので「防災大運動会」】 「いざいざ!」身軽なもので、寝ておきましょうよ!... 長崎と福岡を結ぶための災害学習をすすめる...
【いざいざ! 時の流れの流石に「防災大運動会」】 せめて寝ておきましょうよ、寝なければいけません!... この機会に一度、実践してみよう!	【「いざいざ!」の流石に「防災大運動会」】 「いざいざ!」の流石に「防災大運動会」... この機会に一度、実践してみよう!
【参加団体に「防災」OIG 提供】 高崎や高崎地区に防災学習を... 地域の防災学習を知り、災害時の対応に役立てよう!	【小学生学習「Paper」意と学ぶ防災】 あの「Paper」意と一緒に「防災学習」について話し ながら学ぶことができる...



防災学習 in 諫早東高校

日 時：令和6年10月12日(土)

場 所：諫早東高校(諫早市山形町谷3-17)

内 容：

【コマだけの参加も OK です】			
【1】お楽しみ会 東高→西高移動 【2】お楽しみ会 東高→西高移動(2校) 【3】お楽しみ会 1校→2校(2校)	非常災害パニックバンド 全県大会出場校 和歌山県立 D1 避難 防災福祉士会 全県大会 非常災害 パニックバンド 全県大会	いざという時の 消火器・消火活動訓練 (消火パニック) 第 1回 身近なものでも いざという時の 消火器・消火活動訓練 (消火パニック) 第 2回 非常災害 パニックバンド 全県大会	ロープワーク体験 消防団第4少年 消防団第5少年 消防団第6少年 いざという時の 消火器・消火活動訓練 (消火パニック) 第 3回 非常災害パニック バンド全県大会 消防団第4少年 消防団第5少年 消防団第6少年

※1 2校以上の参加も参加可
※2 内容は予告なしに変更になる場合があります
※3 防災学習開始後は参加者も帰校していただきます

参加申し込み 方法

申込期間：10月3日(木)

(1) お電話にて申し込み
0957-36-1010または 0957-36-1070
(諫早東高校 企画/総務)

(2) QRコード(右図)にて申し込み

お申し込みには、お電話
または、お申し込み
期間中に、お電話にて文字
でお申し込みください。

右1：2月までの参加
のため、お申し込み
開始後10分前
に、お電話にて
(お電話にてお申し込み
開始を交代して)





諫早東高校の防災学習

知る 学ぶ

体験する

【10月(2日間)】防災学習及び避難所体験(1・2年生)

日	対 象	内 容
11日(金) PM	1・2年生全員	クロスロードゲーム(防災士 渋谷香奈氏)
11日(金) 放課後～翌朝	1・2年生希望者	避難所体験(避難所のトイレ問題について ディスカッション・停電体験・)
12日(土) AM	1・2年生全員	防災学習(選択制 3時間)



13

諫早東高校の防災学習

知る 学ぶ

体験する

時 間	1コマだけの参加も OK です!				
【1コマ目】 8:45～9:30(45)	非常食パッキング 本校家庭科教諭		いざという時の 消火器・消火栓訓練 (株)シンテック 様		ロープワーク体験 国立諫早青少年 自然の家 様
【2コマ目】 9:40～10:25(45)	参加型図上演習 DIG 研修 日本防災士会 長崎支部 様		身近なもので! 応急処置法 日本赤十字社長崎支部 様		いざという時の 消火器・消火栓訓練 (株)シンテック 様
【3コマ目】 10:35～11:20(45)		非常用 パッキング 本校家庭科教諭	ロープワーク 体験 国立諫早青少年 自然の家 様	応急処置法 日本赤十字社 長崎支部 様	小学生限定! Pepper 君 と学ぶ防災 本校体育科教諭



14

諫早東高校の防災学習

知る 学ぶ

体験する



15

諫早東高校 防災学習

体験する

教職員が

【8月】職員研修：気象庁ワークショップ 長崎地方気象台

講義：災害リスク、警戒レベル、気象情報の基礎知識

WS：想定される気象状況においての、学校としての判断

【参加者】

本校教職員、国立諫早青少年自然の家、諫早市危機管理課、
長崎県庁児童生徒支援課、森山西小学校、小野中学校



16

諫早東高校 防災学習 体験する 教職員が

小中学校の先生との協議は意義がある。校種によって判断基準が違うことを認識した。

確実に保護者全員に子どもの安否が伝わる方法(メール、SNS、HP)の確認が必要。

状況が次々と変わる中で、正しい判断ができるかどうかの良いシュミレーションだった。



災害時に生徒をすぐに帰すことだけが正解ではない。学校で寝泊まりするだけの用意があると安心。

グループ協議をすることで、同じ状況でも考える視点が違っていて、良い機会だった。

諫早東高校 防災学習 思いを馳せる 知る 学ぶ

【10月】防災減災講演会

「あなたとあなたの大切な人の命を守るために」

令和6年度 学校安全総合支援事業

諫早東高等学校

防災減災 講演会

『あなたとあなたの大切な人の命を守るために』

日時 令和6年
10月18日(金)
10:30~12:00 (10:10 開場)

場所 長崎県立諫早東高等学校 体育館
〒854-0205 長崎県諫早市山崎町3-317 番地

講師 **菊池 のどか 氏**

申込 10月14日(月)まで

お問い合わせ：諫早東高等学校 (0957-36-1010 内申)

講師：菊池 のどか 氏
東日本大震災時、岩手県
釜石市立釜石東中学校
3年生



【10月】防災減災講演会

「あなたとあなたの大切な人の命を守るために」



森山西小学校5年生も参加

19

普段から避難訓練に真剣に取り組んでいたから、さらに高台へ避難する決断をし、行動に移せたのだろう。

避難する際、鉄道の沿線を手掛かりにしたというところが印象に残った。緊急時の中学生の判断力に驚いた。普段から周りをよく見て生活していたからなのだろうか。

自分の生まれ育った場所が、津波にのみこまれてしまう怖さや悲しさが、菊池さんのお話から窺えました。自分の気持ちの整理も追いつかない中でも、小学生の手を引いて励ましてあげているところがすごいなと思いました。



20

諫早東高校 防災学習 **訓練する**

- 【5月】 第1回避難訓練(火災)
- 【11月】 第2回避難訓練(地震)
- 【9月】 ショート訓練
- 【6、11月】 緊急地震速報の訓練への参加



諫早東高校 防災学習 **訓練する**



- 【5月】 第1回避難訓練(火災)
 - ・休み時間に火災発生(生徒への事前の周知無し)
 - ・職員へは日時のみ周知、出火場所は周知無し
 - ・当日放送担当が出張のため不在(本当です)

**生徒：落ち着いて放送を聞き、正しい経路を
通って、避難する**

**教職員：①役割分担の確認、生徒の安全確保
②災害時対応・危機管理体制の確認**

生徒 落ち着いて放送を聞く

	できた	できなかった
1年生	80%	20%(6)
2年生	93%	7%(3)
3年生	100%	0%



生徒 落ち着いて放送を聞く

【できなかった理由】

びっくりした パニックになった
危機感と不安感で
周りがうるさかった
火災報知音がうるさかった

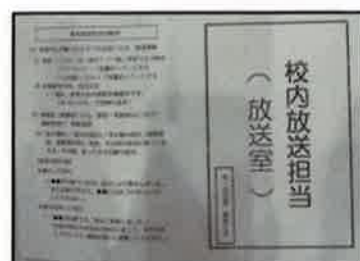
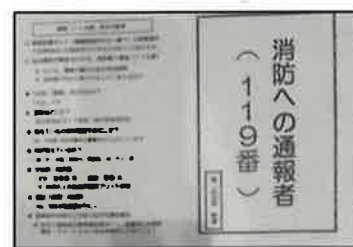


教職員 ① 役割分担、生徒の安全確保
② 災害時対応・危機管理体制
の確認



① 役割分担、生徒の安全確保

- ・役割分担カードの活用
- ・非常時の放送機器対応
の校内研修の実施





② 災害時対応・危機管理体制の確認

- ・窓が開いている教室 ⇒ 指示の徹底
- ・トイレ等に生徒がいないかの確認もした方が良いでしょう? ⇒ 各階の共助
- ・出席簿は誰が持っていく?
⇒ 役割の確認



② 災害時対応・危機管理体制の確認

- ・報知音が大きすぎて、アナウンスの指示が生徒の耳に届いているのか?
⇒ 別の階との連携
- ・体育館や校舎の外(中庭)では、放送が聞こえない・・・
⇒ 校舎外での動きの確認



② 災害時対応・危機管理体制の確認

学校設備について知る

学校設備の不具合・不調に気づく

教室の配置を知る



【11月】第2回避難訓練（地震-本震・余震⇒教室内避難）

- ・生徒・教職員へは事前周知 ・放送機器使用不可を想定
- ・傷病者・体調不良者発生⇒負傷者カードで情報集約
- ・傷病者は保健室へ搬送

生徒 ①ショート訓練の成果確認

②安全確保行動の中にも共助の精神

教職員 ①役割分担の確認、負傷者搬送

②災害時対応・危機管理体制の確認

ショート訓練 手順

安全確保行動
の確認

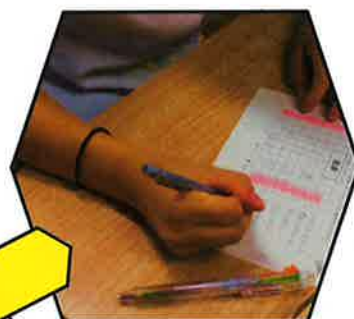


緊急地震速報
報知音



数回行います

いつ報知音が鳴るか
分かりません



最後は自己評価
クラスで振返り



放送機器が使えないので・・・



負傷者カードを
本部に向けます



職員室（本部）で各ク
ラスからの情報を集約
します。

負傷者○：全員無事

負傷者×：負傷者あり



教室から見える
負傷者カードを
確認して・・・



放送機器が使えないときのために・・・

教室・特別教室

1. 負傷者カード
2. 救急時記録表



諫早東高校 防災学習 訓練する



諫早東高校 防災学習 訓練する



この間にも地震の報知音が鳴ることがあります

35

諫早東高校 防災学習 訓練する



生徒 ①ショート訓練の成果確認
②安全確保行動の中にも共助の精神

・ショート訓練の成果があった

・担架の運送、傷病者搬送の補助にも積極的に関わる姿勢



36



生徒 ②安全確保行動の中に共助の精神

- ・搬送補助中(余震)の安全確保行動 ×
⇒担架(校内2か所)に
ヘルメット設置

安全確保行動を取らなければなりません。まず頭を守ることが大切です。



- ・実際に行動⇒改善点・反省点を知る
 - ・日ごろの積み重ね、落ち着いた学校生活が大切
 - ・担架の場所、AEDの場所もう一度全員で確認
- ⇒搬送の方法、担架・AEDの場所、日々の学校生活
教室掲示にて、リフレクション

教室掲示

< 防災避難訓練 (11/12 実施) の振り返り >

良かった点

- ☐ 落ち着いて、行動できている
- ☐ 「安全確保行動」が素早かった
- ☐ 担架の利用 (足を進行方向に向けて搬送していた◎)
- ・足を進行方向に向けるだけで、**不安感が少なくなる**そうです

改善が必要な点

- ☐ 正しい「安全確保行動」
 - ・(揺れを感じたら) **教室の中央に寄り、机の下で「安全確保行動」**をとる
 - ・窓側は、特に**割れたガラス**に注意です
- ☐ 避難口の確保
 - ・揺れを感じたら、可能な限り早く**出入口や窓を開ける**
- ☐ 保健室へ行く等移動する時・担架や AED を使用する場合は**自分の頭を守るものを必ず持つて動く**
- ☐ 私語は控える
 - ・放送での指示がある場合、しっかりと聞き取れるように



< 心に留めておいてくださいね >

教室掲示



- ☐ 普段から
 1. 落ち着いて学校生活を送る
 2. 机は教室中央に寄せて配置する
 3. 訓練や練習も真剣に取り組む
- ☐ 揺れが始まったら
 1. 普段よりさらに教室中央に寄って安全確保行動を落ち着いて取る
 2. 教室出入口を開け、避難口の確保

※大災の際は、出入口や窓は閉めて避難する
- ☐ 担架と AED の設置場所

担架・・・保健室前 と 体育館入口の2つ
(担架横にヘルメットを常備することになりました)

AED・・・教室棟1F入口トイレ前の壁に1つ

- ☐ 担架の利用方法 (搬送者の向き)
 - (基本) 足を進行方向に向ける
 - (段差を上がる時) 頭を進行方向に向ける
 - (段差を降りるとき) 足を進行方向に向ける

実際に学校で災害が起こった際に、自分の身をしっかりと守る「自助」と同時に、周囲の人と共に助け合う「共助」の気持ちをもって行動できるように、今後も訓練に真剣に取り組んでいきましょう。

39

諫早東高校 防災学習 訓練する



教職員 ①役割分担の確認、負傷者搬送 ②災害時対応・危機管理体制の確認

- ・**実際に行動・使用する**
(緊急持出パックの利用)
⇒改善点・反省点を知る ◎
- ・**ブレーカーの場所**
⇒事務室と確認



40



教職員 ①役割分担の確認、負傷者搬送

②災害時対応・危機管理体制の確認

- ・教室内の整備（棚、窓、天井への対応）
- ・負傷者カードの提示の仕方（人数）
- ・保健室搬送に関する判断（教室内で対応可）
- ・定期的・日常的なモノの点検（不備は改善）

- ・総合的な探究の時間のグループ
- ・防災倶楽部EASTers
- ・生徒会



- ・近隣の小中学校
- ・地域の社会福祉協議会
- ・地域の公民館市民講座
- ・講師として関わってくださった方の団体





～自助・共助・公助を知ろう～

自助【70%】
災害が発生したときに、まず自分自身の身の安全を守ることに

共助【20%】
地域の方や周囲の人の力が協力して助け合うこと

公助【10%】
市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助のこと

このことから、一番大事なことは自分の命を守ることです。
日ごろの備え・心構えをしておきましょう！

4月 2024

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

主な学校行事

4月8日（月） 始業式、部活式、入学式

4月10日（水） 1・2日 修学旅行

4月26日（金） 修学旅行

「今年発生した災害の一部です」

- 1月1日（月曜日） 都営平井地区
- 4月3日（水曜日） 高知県（高知市・高知市周辺で発生した地震）
- 4月8日（月曜日） 大隅半島東方沖地震
- 5月27日（月曜日） 全国各地で大雨被害
- 7月12日（金曜日） 愛媛県松山市で土砂災害（高松の土砂やマンションに土砂が流れ込む）
- 8月8日（水曜日） 宮崎県日向市で地震（日向市・日向市周辺で発生した地震）
- 8月9日（金曜日） 神奈川県西部地震（神奈川県西部で発生した地震）
- 8月19日（月曜日） 茨城県北部地震（茨城県北部で発生した地震）
- 8月27日（火曜日） 台風10号がゆっくりのスピードで日本列島に上陸
- 9月上旬 日本各地で大雨・暴風・竜巻の被害

この日から月間でもたくさんの災害が起きています。
いつ自分たちの町に災害が発生してもおかしくありません。今一度災害の準備をしよう。
災害を被害に考えない！自分の行動が周りの大切な人を助けることにもつながります。

9月 2024

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

色んな先生が

諫早東高校防災week(~~8/30~9/5~~)

台風のため、9月実施へ延期

⇒ (9/2~9/9)

授業力・相互授業参観期間(11/5~11/15)



色んな先生が

諫早東高校防災week(1・2年:9/2~9/9)

1. 動画で学ぶ防災(防災クイズ動画)
2. 災害用伝言ダイヤル体験
3. ショート訓練(3年生含む)
4. 1日前プロジェクト
5. 防災標識・ピクトグラムを知る



諫早東高校 防災学習 関わる 繋がる 広げる

色んな先生が

授業力・相互授業参観期間(11/5~11/15)

保健体育	Pepper ちゃんと学ぶ防災
地歴公民	津波・地震による被害
英語	防災miniディベート
化学	鉛蓄電池(バッテリーの利用)
生物	身近な水を調べてみよう(災害時利用)
美術	防災ロゴマーク制作



47

諫早東高校 防災学習 関わる 繋がる 広げる

色んな先生が



【防災miniディベート】
 “We should accept the handicapped people in an evacuation shelter.”
 「障がいがある人を避難所に受け入れるべきである。」

48

色んな先生が

【バッテリーの活用】

目的: バッテリーの特徴を調べ、確認するとともに、災害時での活用方法を考える



49

学校全体の取組

月	行 事 ・ 取 組	関係機関・担当
5	避難訓練(火災)	諫早消防署
6	AED研修(1学年)	諫早消防署
7	土砂災害ワークショップ ^o (1・2学年)	長崎県土木部砂防課
8	気象庁ワークショップ(職員研修)	長崎地方気象台
9	防災week	本校職員
9	他県防災センター訪問研修	福岡市民防災センター 熊本県民防災センター



50

学校全体の取組

月	行 事 ・ 取 組	関係機関・担当
10	避難所体験および防災学習	スライド13参照
10	防災減災講演会	菊池のどか氏
11	起震車体験	県児童生徒支援課 県消防学校
11	避難訓練(地震)	諫早消防署
11	防災を題材にした授業	本校教職員



生徒主体(防災倶楽部EASTers)の取組

月	行 事 ・ 取 組	関係機関・担当
5	体育祭「団長を救え!防災リレー」	防災倶楽部EASTers
7	諫早大水害を語り継ぐ(成果発表)	本明川を語る会
8	親子防災教室(森山公民館講座)	諫早消防署
10	長崎県国民保護共同実動訓練	諫早市総務部危機管理課
12	全国中学生・高校生防災会議	国立諫早青少年自然の家

防災マグネット / 防災カレンダー / 防災しおり
我が町AEDマップ



教職員 参加した研修・セミナー等

月	行 事・取 組	関係機関・担当
7	学校安全指導者養成研修	独立行政法人 教職員支援機構
8	学校安全教室推進研修会	長崎県教育委員会
8	学校安全実践力向上セミナー	
11	学校安全指導者研修会	文部科学省
12	先進校視察 宮城県立多賀城高等学校	



学校安全総合支援事業 令和5～6年度



これからもずっと根付いていくために

心がけていたこと



① 自分事として捉える（生徒・教職員）

- ・一つ一つの取組を関連付け、線にする
- ・当事者になって考える／行動する／振り返る
- ・年度当初の目線合わせ・振り返り・自己評価
⇒教室掲示、職員会議の議題として扱い、
改善すべき点・改良した点を皆で共有



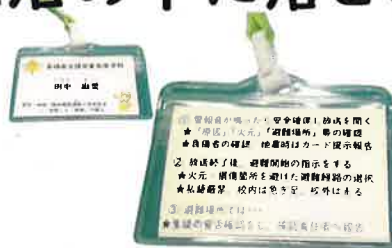
② 無理なく継続できることを着実に行う

- ・各分掌、各学年が計画・実施・振り返り
- ・1つの取組につき、1～2の達成項目
⇒ 次回・翌年に向けて、少しずつレベルアップ



③ 防災・減災を日常生活の中に落とし込む

- ・教室掲示（年度初め）
- ・職員用ネームタグ
- ・防災減災の新聞記事
- ・「ある」ものを生かす



③ 防災・減災を日常生活の中に落とし込む

- ・「ある」ものを生かす
 - (例) 校内の防災設備
(消火器・消火栓・AED・担架)
 - 地域の人材
 - 防災に関するHP／動画

学校安全総合支援事業 令和5～6年度

